

「マクロ経済学 II」試験問題

- ・ 2016年1月8日（金） 9:30～10:30 施行 担当者名：蓮見 亮
- ・ 問題用紙は1枚紙（問6まで）、解答用紙は別紙
- ・ 資料（ノート、参考書、印刷物等）の参照可
- ・ 電子機器の使用不可

問1. 購買力平価説について、以下の表を参照しながら問に答えなさい。

国	通貨	対ドル為替レート	物価指数
ボリビア	ボリビアーノ	8	1,600
日本	円	80	20,000
モロッコ	ディナール	10	2,000
ノルウェー	クローネ	6.5	1,500
タイ	バーツ	40	7,000
(アメリカ)	ドル	1	200

(注)対ドル為替レートは1ドルとの交換に必要な自国通貨の額

- (1) 購買力平価説とはどのような理論か説明しなさい。
- (2) アメリカドルとの関係で購買力平価が成立しているのはどの国か（1 or 2 か国）。
- (3) アメリカドルとの関係でどの通貨が購買力平価の原理で推測される以上に価値が低いか（1 or 2 つ）。
- (4) アメリカドルとの関係でどの通貨が購買力平価の原理で推測される以上に価値が高いか（1 or 2 つ）。
- (5) 実質的に、アメリカの財はどの国の財より高いか（1 or 2 か国）。
- (6) 実質的に、アメリカの財はどの国の財より安いのか（1 or 2 か国）。

問2. ある経済が長期均衡にあるとしよう。そこで、国際関係が改善したり、政府（政策）への信用が増したりしたことによって、人々は将来についてより楽観的になったとする。またこれは当分の間続くとする。

以下の各問の選択肢のうち正しいものを a～d のいずれかの記号で解答しなさい。

- (1) 楽観主義について答えなさい。どの曲線がどちらにシフトするだろうか。
 - a. 総需要曲線が右にシフトする。
 - b. 総需要曲線が左にシフトする。
 - c. 総供給曲線が右にシフトする。
 - d. 総供給曲線が左にシフトする。
- (2) 短期では、物価水準や実質 GDP に何が起こるか。
 - a. 物価水準は上昇し、実質 GDP は増加する。
 - b. 物価水準は下落し、実質 GDP は減少する。

- c. 物価水準は上昇し、実質 GDP は減少する。
 - d. 物価水準は下落し、実質 GDP は増加する。
- (3) 期待物価水準はどうか。また、賃上げ交渉はどうか。
- a. 期待物価水準は下落し、賃金交渉はより高い賃金で確定される。
 - b. 期待物価水準は下落し、賃金交渉はより低い賃金で確定される。
 - c. 期待物価水準は上昇し、賃金交渉はより高い賃金で確定される。
 - d. 期待物価水準は上昇し、賃金交渉はより低い賃金で確定される。
- (4) 楽観主義による期待物価水準の変化は、長期的に、
- a. 長期の総供給曲線を右にシフトさせる。
 - b. 長期の総供給曲線を左にシフトさせる。
 - c. 短期の総供給曲線を右にシフトさせる。
 - d. 短期の総供給曲線を左にシフトさせる。
- (5) 新たな長期均衡は、当初の均衡とどのように異なるか。
- a. 物価水準と実質 GDP は両方とも高くなっている。
 - b. 物価水準と実質 GDP は両方とも低くなっている。
 - c. 物価水準はそのままであるが、実質 GDP は高くなっている。
 - d. 物価水準は高くなっているが、実質 GDP はそのままである。

問 3. 金融危機が起こると、銀行が資金をこれまでより集めることができなくなり、貸付けも縮小する。その結果、人々や家計は銀行からお金を借りることができなくなるので、所与の物価水準における支出は減少する。しばらくの期間、こうした貸付けの縮小が起こるので、金融危機はすぐには終わらない。

以下の各問の選択肢のうち正しいものを a~d のいずれかの記号で解答しなさい。

- (1) 短期的にみると物価水準と実質 GDP はどうか。
- a. 物価水準と実質 GDP はともに上昇する。
 - b. 物価水準は上昇し、実質 GDP は低下する。
 - c. 物価水準は低下し、実質 GDP は上昇する。
 - d. 物価水準と実質 GDP はともに低下する。
- (2) 名目賃金が硬直的である場合、産出量の変化を説明するものはどれか。
- a. 実質賃金が低下するため、企業は生産を減少させる。
 - b. 実質賃金が低下するため、企業は生産を増加させる。
 - c. 実質賃金が上昇するため、企業は生産を減少させる。
 - d. 実質賃金が上昇するため、企業は生産を増加させる。
- (3) もし中央銀行が何の対応もしなければ、長期的に、金融危機による期待物価水準の変化は、
- a. 総需要曲線を右にシフトさせる。
 - b. 総需要曲線を左にシフトさせる。
 - c. 短期の総供給曲線を右にシフトさせる。
 - d. 短期の総供給曲線を左にシフトさせる。

- (4) 中央銀行の介入なしに、経済は再び長期均衡に達したとする。今、金融危機が収束し、銀行の貸出し能力も通常に戻るとする。金融危機前の物価水準より低いのはどれか。
- 経済が金融危機の間に長期均衡に達した後と、金融危機が終わった後の長期均衡のとき。
 - 経済が金融危機の間に長期均衡に達した後であり、金融危機が終わった後の長期均衡のときではない。
 - 経済が金融危機の間に長期均衡に達した後ではなく、金融危機が終わった後の長期均衡のときである。
 - 経済が金融危機の間に長期均衡に達した後でも金融危機が終わった後の長期均衡のときでもない。

問 4. 以下の文章が正しければ解答欄に○印を、誤っていれば×印を記入しなさい。

- 総需要に影響を与えることができるのは金融政策と財政政策のみである。
- アメリカ経済においては、総需要曲線が右下がりである最も重要な理由は利子率効果である。
- 流動性選好理論はアーヴィング・フィッシャーによって唱えられた。
- 他の条件が変わらない場合、物価水準の上昇によりアメリカの実質為替相場は減価する。
- たいていの場合、金融政策は主に長期的に影響を及ぼし、財政政策は短期的に影響を及ぼす。
- インフレ率がゼロとすると、名目利子率と実質利子率は等しい。
- 物価水準の上昇は貨幣需要曲線を左へシフトさせ、利子率を上昇させる。
- 連邦準備が貨幣供給を増加させると、利子率は下がる。このように利子率が下がることにより消費と投資需要が増加し、総需要曲線は右にシフトする。
- 連邦準備がフェデラル・ファンド・レートに目標を設定すると、原則として、貨幣供給の調整により、均衡貨幣量が日に日に調整されていくことになる。
- 他の条件が等しい場合、物価水準がより高くなると、家計の実質資産は高くなる。
- 連邦準備は、銀行が保有している準備金に支払う利子率を変更することによっても、総需要に影響を与えることができる。
- 利子率効果は、より高い物価水準が貨幣需要を減少させるという事実により、部分的には説明される。
- 政府が景気循環を回避して景気の安定に役立つ対応を行うことができるという能力を疑問視している人々の主な批判理由は、貨幣供給や政府支出が産出量に変化を与えるという理論には不備があるというものである。
- 失業保険も福祉プログラムも自動安定化装置として機能する。
- 景気後退期において、失業保険の支払いは増加する傾向がある。

問 5. 2 期間生存する家計を考える。初期資産 A は所与とし、利子以外の所得はないものとする。 C_1, C_2 を各期の消費とし、第 1 期で貯蓄した場合の利子率は r であるとする。

- (1) この予算制約を等式の形で書きなさい。
- (2) 生涯効用関数 U を

$$U(C_1, C_2) = \sqrt{C_1} + \beta\sqrt{C_2}$$

としたとき、生涯効用を最大にするような C_1, C_2 を A, β, r を用いて表しなさい。

- (3) (2) に代えて、生涯効用関数 U を

$$U(C_1, C_2) = \ln(C_1) + \beta \ln(C_2)$$

としたとき、生涯効用を最大にするような C_1, C_2 を A, β, r を用いて表しなさい。

問 6. 以下の 2 式からなるソローモデルを考える。

$$\begin{cases} Y_t = K_t^\alpha L_t^{1-\alpha} \\ K_{t+1} = (1 - \delta)K_t + sY_t \end{cases}$$

ここで、 Y_t は総生産、 K_t は資本ストック、 L_t は労働量、 s は貯蓄率、 α は資本分配率、 δ は減耗率である (s, α, δ はいずれも定数)。

- (1) 資本ストック K_t は何を意味するか、具体例を挙げながら説明しなさい。
- (2) 定常状態での労働量は L^* で一定とする。このモデルにおける定常状態での単位労働あたり総生産および資本ストック $y^* (= Y^*/L^*)$, $k^* (= K^*/L^*)$ をパラメータ s, α, δ を用いて表しなさい。必ず計算過程も書くこと。
- (3) 定常状態とは何か、説明しなさい。
- (4) この経済において $t = 0$ では定常状態にあったが、 $t = 1$ で地震により資本ストックが K^* から半減したとする。労働量 L_t が常に \bar{L} で一定で、かつこれ以降、何も特別な出来事が起こらなかった場合に、単位労働あたり総生産 $y_t (= Y_t/\bar{L})$ はどのようなパスを描くだろうか。経路の概略を解答用紙に記入しなさい。
- (5) この経済において $t = 0$ では定常状態にあったが、 $t = 1$ で人口流出により労働量が $t = 0$ の水準から半減したとする。 $t = 1$ 以降の (つまり半減後の) 労働量 L_t が常に \bar{L}_1 で一定で、これ以降、何も特別な出来事が起こらなかった場合に、単位労働あたり総生産 $y_t (= Y_t/L_t)$ はどのようなパスを描くだろうか。経路の概略を解答用紙に記入しなさい。